

子育てプランの充実を

委員長 小野 昌士

審査の状況・結果

障がい者のための 避難所整備を！

障がい者避難施設整備
事業費

○本町には障がい者のた
めの通所施設が3か所、
グループホーム・ケアホ
ームが18か所あり78名
の方が利用している。自
宅・グループホーム等が
被災した場合に特別な支
援が必要な障がい者が避
難できる施設がないため、
施設整備に対し町が整備
費の一部を補助するもの
である。

委員会では、災害時に
は、すぐに避難所として
利用ができるよう指摘を
した。

自主的な運営を！

隠岐レインボークラブ
(地域スポーツクラブ)
活動費

○このクラブは、「誰でも・
楽しく・皆で気軽に」を
基本理念に、健康あふれ
る楽しい町づくりに貢献
することを目的に活動し
ているクラブである。

現在380名の会員数
で年会費1万2000円
と補助金、事業収入等で
運営している。今年5月、
日本体育協会からの助成
金が大幅にカットされた。
このままではクラブの経
営努力で解決できないた
め、助成するものである。

委員からは、「自助努
力で行うべきだ。」「健康
づくりは予防医療も含め
町づくりの大切な事業だ。」「
他のクラブも取り込み、
町の施策として総合的に

教育民生常任委員会に付託された一般会計及び各特
別会計補正予算などの議案は審査の結果、全て「可
決すべし」としたので、主なものを報告する。

健康づくりを推進すべき
だ。」等の意見があった。
教育委員会では来年度
から体育館事業として運

営するようだが、委員会
としては、補助金は原則
本年度限りとするよう指
適した。



子育て支援の拡充が少子化対策への道

公共施設利用時の 節電を！

五箇生涯学習センター
の電気料の増額

○各施設の電気料金は一
日の最大電力使用料が年
間の基礎電力契約となる
ため、施設利用のあり方
が課題である。大ホール
の利用方法を工夫し、節
電を図るよう指摘した。

決算審査

乳幼児医療費助成 制度の拡大を！

○乳幼児医療費助成制度
は県と町が1/2ずつ助成
している。

委員会では、県下でも
子育て支援や若者定住に
も繋げるため、現在、就
学前までの補助制度を拡
大して、町独自で中学生
まで引き上げを検討する
よう要望してきた。

町は県下の動向、財政
状況など勘案して対応す

世界認定の「冠」を どう活かすか！

○隠岐ジオパークは念願
の世界認定が決定となっ
たが、今後、この冠をい
かに町づくりに生かして
いくかが課題である。

隠岐ジオパークマスタ
ープランの具体的な実施
計画は4年間であり、運
営組織と財政基盤、地域
の持続可能な発展、教育・
普及活動の実施、保護・
保全等々である。

今後、検討がなされ、
具体的な実施計画が作ら
れる。
委員会では、町として
の実施計画を強力に推進
するよう指摘した。

総務産業建設 常任委員会

視察年月日

平成25年8月19日

～22日

■岡山県美作市

目的

行政からの告知放送、防災、高齢者対策、観光、医療の他、多くの分野でCATVを活用した情報共有化をしている先進地を視察した。

美作市は 人口約3万人で、農林業のほか、産業団地や湯郷温泉、氷ノ山など、美しい自然に恵まれているが、多くの地域が難視聴地域である。CATVの有効活用について

同市ではデータ放送、市からの告知、防災のための雨量情報と監視カメラ、議会の実況中継を整備し、「みまチャンネル」という自主放送もしている。

防災情報は、データと目視の双方で確認でき、対策がとれる。また議会の様子が家庭で視聴でき、

自主放送は、地域の行事や活動を取材し、平日30分番組として11回再放送している。

自主放送は、地域が元気になる効果はあるとのことだが、運営費の負担が大きいとのこと。

今後、既存の施設や最新のIP技術を活用して情報共有を図ることができるとかが課題である。

■兵庫県神河町

目的

空き家調査事業を展開し、空き家を活用しての先進事例を視察した。

神河町は 兵庫県の中部で人口約1万2000人、8割が山林であり、生野銀山と瀬戸内を結ぶ街道に古い家並みがある。姫路市まで約40分と比較的アクセスに恵まれた町である。

空き家バンク事業について

同町では、大工や不動産業者などの専門家やボランティアを加えた「神河田舎暮らし推進協議会」を設立し、空き家を「空き家バンク」に登録している。(平成25年6月現在78件) 応募した人は、現在約280人である。

定住を希望する場合は、改修費の一部を助成し、改修などには有利な融資制度も用意している。

本町では 定住につながる空き家対策とそれに向けた組織化を検討すべきであると感じた。



町民への情報伝達が今後の課題

教育民生 常任委員会

視察年月日

平成25年8月20日

～22日

■岡山県美咲町

目的

子育て支援並びに定住対策の充実、強化を図り「住んでみたい」「住んでよかった」と思える町づくりを目的に、子育てプランの現状と定住対策を視察した。

美咲町は三町が対等合併した人口1万5709人の町で、日本棚田百選に選ばれた棚田、西日本最大級の養鶏場があり、この米と卵を使った「卵かけごはん」が有名。人口構成や少子高齢化など、隠岐の島町と非常によく似た自治体でもある。

乳幼児・児童・生徒の医療費助成について

同町では乳幼児・児童・生徒の健康増進を図るた

め、保護者に対し自己負担額の全額を助成している。中学卒業までの入院・通院も補助対象としており、平成21年2月から高校卒業までに拡大し実施している。

その他の子育て支援について

子育て家庭の経済的負担軽減と、安心して子供を産み育てることのできる環境づくりに寄与することを目的に次の支援を

行っている。
○第三子以降の子どもがいる家庭で、対象の子どもが中学を卒業するまで水道基本料金分の同額1570円を支給。
○保育所・幼稚園等に入所していない小学校就学前までの児童を養育する保護者に一万円支給。

美咲町では子育て支援定住対策に役場全体で取り組んでおり、町づくりの熱意を感じた。



少子化対策・定住対策への熱意が必要